

けいはんなオープンイノベーションセンター グローバル実証支援拠点

住民・自治体が積極的に協力

- グローバル・オープンイノベーション推進のため、5つの共用実証設備を備え、スマートシティの取組を先導
- 5G×公道走行、MC-Lab×ロボットセンターなど、複数の組み合わせによる実証実験の高度化を促進

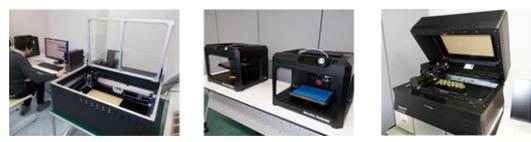
けいはんなロボット技術センター



研究開発用ロボットや測位機器等を備え、ロボットの自律システム、人とロボット、ロボット同士の協調システムをはじめ、暮らしや生産性の向上に資する様々な次世代ロボット技術の開発、導入を支援



Fabスペース



3Dプリンターやレーザー加工機、CNCフライス盤等の貸し出しにより、ものづくり企業の開発拠点としての機能を担うほか、各種イベント・セミナーの開催を通じて、研究・開発者の連携を支援



5G基地局



屋内と屋外に5Gアンテナを整備。研究・開発者による5G技術を利用した実証実験を支援し次世代通信機器等の開発を促進

けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム (K-PEP)

自動運転等の新技術を活用した安全快適な新たな交通システム等の開発に向けて、企業や研究機関が乗り合って自由に研究開発や実証実験が行える日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォーム



運営主体
 (公財) 関西文化学術研究都市推進機構

メタコンフォート・ラボ (MC-Lab)

空調(温度・湿度)、照明、窓の風景、映像、音響、アロマなど、人の五感に働きかける情報を統合的に制御する機器を備え、ヒトの心理・行動・生体情報のビッグデータを解析し、世界に類をみない「超快適」のデータベースを構築し、将来の事業化を支援



- 特長1 五感情報を融合した制御をすることが可能
- 特長2 二つの実験室で五感の比較体験が可能
- 特長3 生体センサと五感環境をIoTで連動可能